

〔別添 - 3〕 ETC普及に伴う主な本線料金所での渋滞緩和効果

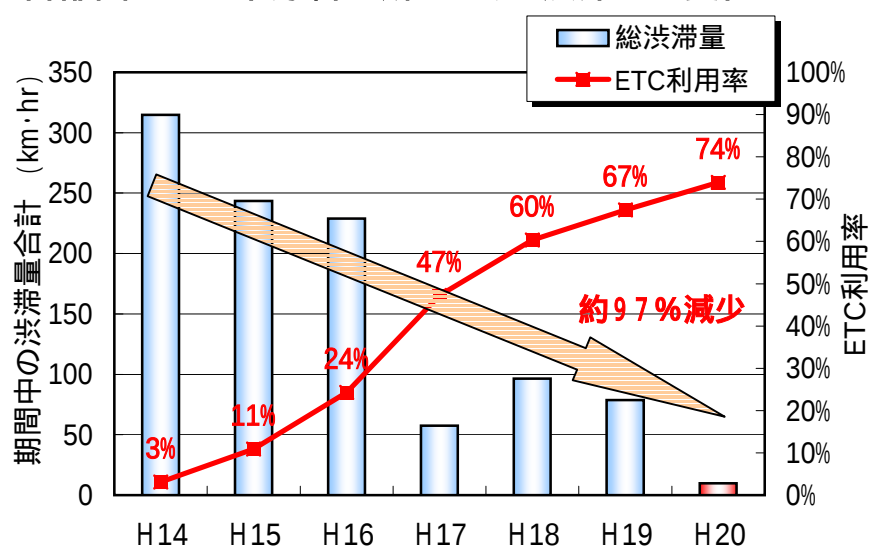
- 今年のお盆期間中における首都圏の主な本線料金所のETC利用率が約74%となり、去年同期(約67%)より約7%増加しました。

これに伴い、料金所を先頭とする渋滞¹は、ETC全国導入直後の平成14年より、**渋滞量で約97%減少**しました。

(1km以上の渋滞は、関越道下り新座本線料金所で2回、東北道上り浦和料金所で2回発生。)

1 料金所を先頭とする交通集中による渋滞(事故渋滞、アクセス道路からの渋滞延伸は含まない。)
渋滞: 時速40km以下で走行する車列が1km以上かつ15分以上継続した交通状況をいう。

首都圏の主な本線料金所における渋滞量の変化



比較	渋滞量 (km・hr)	ETC 利用率
H14	314.8	3.1%
H20	9.9	73.9%
増減	▲96.9%	+70.8%

H19	78.7	67.4%
-----	------	-------

渋滞量は、渋滞規模を表す指標(渋滞長×渋滞時間)

〔分析対象の本線料金所〕 首都圏の高速自動車国道の本線料金所
 ・東北道(上下線) 浦和本線料金所 ・関越道(上下線) 新座本線料金所
 ・常磐道(上下線) 三郷本線料金所 ・東関東道(上下線) 習志野本線料金所

〔分析対象期間〕 平成20年8月7日(木)～8月17日(日) [11日間]

〔ETC利用率〕 分析対象の本線料金所における各年の分析対象期間中のETC利用率